

大阪府入札監視委員会 第2部会 平成20年度第2回定例会議 議事概要

- 1 開催日時 平成21年2月10日(火)午後1時30分から午後4時30分まで
- 2 場所 大阪府立女性総合センター(ドーンセンター) 5階特別会議室
大阪府中央区大手前一丁目3番49号
- 3 出席委員 委員長ほか委員4名
- 4 審議対象期間 平成20年8月1日から平成20年11月30日まで
- 5 会議の概要 審議対象期間中の入札参加停止の状況、談合情報の処理状況について事務局、担当課から内容の説明を求めた上で審議を行った。
また、大阪府が契約締結した建設工事(予定価格250万円を超えるもの)、測量・建設コンサルタント等業務(予定価格100万円を超えるもの)、委託役務業務(予定価格100万円(物件の借入れについては、80万円)を超えるもの)、物品購入(予定価格160万円を超えるもの)総契約件数607件の中から次の12件を委員が任意抽出し、事案ごとに担当の発注部局から入札・契約の過程及び内容の説明を求めた上で審議を行った。

(1)建設工事

【一般競争入札】

- ・防災情報充実強化事業 高所カメラ設置工事(5市町村外)(契約金額24,045千円)
- ・大阪府営吉見岡田住宅土壌改良工事(第1工区)(契約金額270,375千円)
- ・大阪府営松高層住宅(建て替え)新築くい工事(契約金額58,590千円)
- ・箕面北部丘陵地区 受水管布設工事(その3)(契約金額127,890千円)
- ・大阪府立金岡高等学校下水道放流切替工事(契約金額62,181千円)
- ・旅行時間計測装置整備工事(第1回)(契約金額45,150千円)
- ・信号機改良工事(第24-1回)(設置工事)(契約金額12,705千円)
- ・交通管制施設拡充整備(第36期)工事(契約金額394,800千円)
- ・大阪府営枚方東牧野第4期高層住宅(建て替え)新築工事(その2)(契約金額224,910千円)

【随意契約方式】

- ・信号機改良工事(第22-2回)(設置工事)(契約金額19,732千円)

(2)測量・建設コンサルタント等業務

- ・大阪府中央卸売市場外1件耐震診断業務(契約金額28,066千円)

(3)委託役務業務

- ・大阪府立中央図書館地下書庫出納管理業務(契約金額39,009千円)

(4)物品購入

- ・暗号化ソフト等一式(契約金額189,000千円)

- 6 審議の結果 抽出した12件の処理状況は概ね適正であると認める。
- 7 委員からの質問とそれに対する回答 別添のとおり

(別 添)

質問	回答
<p>【防災情報充実強化事業 高所カメラ設備工事（5市町村外）】</p> <p>○ 今回の落札者は以前にも落札していたのか。</p> <p>○ 落札率が99.87%と高いのはなぜか。</p> <p>○ 現場工事費の比率はどれくらいか。</p> <p>○ 本工事は3カ年計画の整備工事の3年目ということだが、過去2年の落札率はどれくらいか。</p> <p>○ 1社しか応札していないのはなぜか。</p> <p>また、今回の落札業者は、過去2年間の落札業者と同じ業者とすることだが、他の業者が、入り込めなかったのではないか。</p> <p>○ 3カ年の計画ということは、当初から業者は、わかっていたのか。</p>	<p>○ 平成18年から3カ年計画で整備しており、3カ年とも同じ業者が落札している。</p> <p>○ 今回の工事はケーブル配線工事の施工延長が長く、全体工事費に占める現場工事費の比率も高い。また、現場も府内に分散しており調査調整を個別に行う必要があるなどコスト縮減が困難であったためと推測している。</p> <p>○ 21%である。</p> <p>○ 18年度が80%、19年度が89%である。</p> <p>○ 落札業者以外に参加登録をした業者もあったが結果的に辞退された。これは、本工事が比較的小規模の工事である。現場が分散している。大阪府庁における既存システムの機能増設が含まれ調整、手間のかかる工事である。などの理由によるものと推測している。</p> <p>○ 設計図等に将来構想が記載されているので全体計画については、業者は把握していたと推測している。</p>
<p>【大阪府営吉見岡田住宅土壌改良工事（第1工区）】</p> <p>○ 第1工区と第2工区は土壌の汚染度合いにより分割したとのことだが、汚染の度合いの差は予定価格の算定に影響があるのか。</p> <p>○ 応募可能地域が「府内全域」という表現と「府内業者」という表現はどう違うのか。</p> <p>○ 汚染土壌の改良工事ができる府内業者は何社あるのか。</p>	<p>○ 汚染度合いにより、土壌の搬出先が変わる。また、第2溶出基準を超える汚染土壌については、ごみを選別し、洗浄した後、特別管理廃棄物処理場で焼却処分するので、処理費用は高くなる。</p> <p>○ 応募可能地域が「府内全域」とは、営業所が大阪府内にあれば応募できるという意味である。府内業者とは、「大阪府内に建設業法施行規則第6条の主たる営業所を有するもの」、つまり本社が大阪にある業者という意味である。</p> <p>○ 土壌汚染対策法の指定調査機関は、府内に414社ある。今回の発注については、指定調査機関に限定していないので、それ以外の業者も施工可能である。また、指定調査機関のうち総合建設業の許可を受けている業者は、平成16年度に調べたところでは、60社あった。平成17年度に発注した土壌改良工事には12社が入札参加した。今回の発注に当たっては参加条件をより緩和しており、より多くの参加があると考えていたが、結果として参加者が少なかった。</p>

<p>【大阪府宮松高層住宅（建て替え）新築くい工事】</p> <p>○ 本件の積算は比較的単純だと思いが、応札が8社で、各社の応札金額に差があるのはなぜか。</p>	<p>○ 本案件は拡底杭という特殊な杭工事である。そのため、公的機関の評定・性能証明を受けること及び工事实績を参加条件とした。応札金額の差は、本件工事の専門性によるものと推測している。</p>
<p>【箕面北部丘陵地区 受水管布設工事（その3）】</p> <p>○ 辞退が多いのはなぜか。</p> <p>○ 落札率が高いのはなぜか。</p> <p>○ 地域要件は妥当であったのか。結果的に多くの辞退者が出ているのは、参加可能地域を絞りすぎたためではないか。応札者の数は非常に大きな要件であり、検討する必要があるのではないか。</p>	<p>○ 公告した時期は鋼材単価が短期間のうちに急騰したことであり、業者が見積もりを行う際の価格設定が難しく、このような結果になったと推測している。</p> <p>○ 鋼材類の急激な高騰という状況の中で、見積りをされた結果であると推測している。</p> <p>○ 工事金額、工事場所を勘案のうえ、30社程度の入札参加があるよう地域設定を行っている。</p>
<p>【大阪府立金岡高等学校下水道放流切替工事】</p> <p>○ 応札した20社すべてが、最低制限価格である。予定価格が高いのではないか。</p>	<p>○ 府の積算単価が高いとは、認識していない。全体の仕事量が減少しているなかで、仕事を選択する状況ではないのではないか。また、入札参加可能地域を広く取っていることも影響しているのではないかと推測している。</p>
<p>【旅行時間計測装置整備工事（第1回）】</p> <p>○ 1社しか応札していないのはなぜか。</p>	<p>○ 旅行時間計測装置を製作している業者は、全国に3社しかない。また、中央装置との接続が必要であることから、調整のリスクを勘案して中央装置設置業者以外の業者は応札しなかったのではないかと推測している。</p>
<p>【信号機改良工事（第24-1回）（設置工事）】</p> <p>○ 同時に発注した案件の落札結果はどうなっているか。</p> <p>○ 同時発注案件については、1件しか落札できないとの条件をつけている。そのため、本件入札では、最低制限価格で応札した業者がいるにもかかわらず、結果として予定価格100%で応札者が落札している。このような条件は、受注機会の提供のためだと思いが、同時発注する案件はどのように決めているのか。</p> <p>○ 同時に発注した案件の入札結果を見ると同種の信号機改良工事にもかかわらず、</p>	<p>○ 9件を同時発注している。そのうち、6件は最低制限価格の応札（うち3件はくじびき）であり、1件は1社の応札であった。</p> <p>○ 同時発注の案件数については、発注する工事の規模、工期、業者数を勘案して決定している。また、業者の施行能力を勘案して複数の案件の同時受注を不可としている。</p> <p>○ 道路整備工事に関連した移設工事や地中化工事は、応札者が少なくなっている。参加者数の違いは、工事の種別・内容によるものと推測している。</p>

<p>くじ引きの場合や応札者が2、3社の場合があるなど参加業者数にばらつきがあるのは、なぜか。</p>	
<p>【交通管制施設拡充整備（第36期）工事】</p> <p>○ 1社しか入札に参加していないのはなぜか。</p>	<p>○ 製作者は6社ある。しかし、既設設備との設置調整等が必要であるため、既設設備の設置業者以外の業者は、調整のリスクを考慮して参加しなかったと推測している。</p>
<p>【信号機改良工事（第22-2回）（設置工事）】</p> <p>○ 応札が1社のため入札を取りやめ、随意契約を行ったとのことだが、1社しか応札がなかったのはなぜか。</p> <p>○ 随意契約した業者は、同時発注の他の案件も受注しているが、施行上の問題は無いのか。</p>	<p>○ 大交差点での工事であることから、日曜、休日、夜間の工事となることに加え、道路管理者等との協議に相当手間を要するなど作業要員の確保が難しい。等の理由により1社しか入札がなかったと推測している。</p> <p>○ 本件の受注業者については、2案件の施行能力があると判断した。</p>
<p>【大阪府中央卸売市場外1件耐震診断業務】</p> <p>○ 参加申し込みのあった5社中4社が辞退し、1社のみが応札しているのはなぜか。</p> <p>○ 中央卸売市場と太間排水機場を併せて発注した理由は何ですか。</p> <p>○ 今後の参考とするため、辞退理由を聞いてはどうか。</p>	<p>○ 大規模で複雑な構造の建築物の耐震診断業務であり、高度で専門的な知識を必要とすること等を考慮し、辞退されたと推測している。</p> <p>○ 両施設の耐震診断業務とも一般的な耐震診断業務と比べ、高度で専門的な知識を必要とするため、別々に発注すると業者が分散してしまい、却って入札参加者数が限定されることが予想された。そこで、より競争性を高めるため、両施設をまとめて発注した。</p> <p>○ 今後、議論していきたい。</p>
<p>【大阪府立中央図書館地下書庫出納管理業務】</p> <p>○ カウンター業務は併せて委託しないのか。</p>	<p>○ もともと本件出納業務は職員が行っていた業務であるが、行革ために職員数が減っていく中で業務を効率化するため、委託することとした。カウンター業務については、調査相談業務等もあるので、直営で行っている。</p>
<p>【暗号化ソフト等一式】</p> <p>○ 無効となっている社があるが、その理由は何か。</p> <p>○ USBメモリとソフトウェアの経費割合はどんな内訳なのか。</p>	<p>○ 提出された技術審査資料が仕様書に適合しなかったため無効とした。</p> <p>○ 一括発注であり、経費割合は算出していない。</p>